

3月議会 原口市長の2期目は「やさしい久留米」市長は2期目のスタートに当たり、「人口減少に本格的に向き合ったまちづくり」をすすめると述べました。**1期目は水害対策中心**でしたが、2期目は「やさしい久留米」「強い久留米」「楽しい久留米」をかかげ、「一人ひとりを大切にしたい人づくりと共生、協働の深化」。「多様性を認め合い支え合いながら共生できるまちづくり」「多文化共生の環境整備」を掲げました。ふじばやしの考えに通じる視点もあります。**建設的な提案**や議論をしていきたいと思います。

■ **令和8年度暫定予算、ふじばやしはここに注目** ■
(市長選が1月だったため、本格予算は、6月議会に上程されます)

- ・総合福祉会館避難所整備(空調設備)→1億8千万円
- ・幼児教育研究所の受け入れ拡大→2541万円
(スタッフ増員で待機児童を解消)
- ・交通ネットワークの再構築→1596万円
(宮の陣のモビリティハブの社会実験など)
- ・空き家活用モデル事業→171万円



宮の陣駅前のトックル

平和は最大の福祉

2月の衆議院議員選挙後、非核三原則の見直しや武器輸出、スパイ防止法などの検討が進んでいますが、ふじばやしは反対です。

ウクライナやガザ、イラン、ミャンマーなどで戦争が続く中、戦争は命や暮らし、地域を壊し、深刻な福祉課題を生みます。平和であることこそ最大の福祉です。ましてや軍事力による一方的な侵攻は許されません。

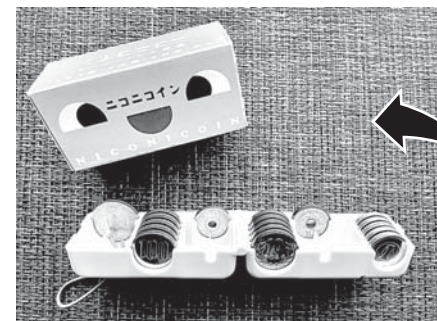
少数意見や人権が尊重される成熟した民主主義によって、平和を守る政治を、これからも大切にしていきます。

3月議会 インクルーシブデザインとものづくり

インクルーシブデザインとは、障害者・高齢者・外国人等とともに製品・サービスなどを開発し、新たな価値創造につなげる手法です。

「久留米のものづくりは技術が高いと評価されています。また、障害者団体の活動が活発です。その両者が出会う機会をつくって、**ビジネスチャンス**につなげてほしい。」と提案しました。

市は、取り組むと答弁しました。



ニコニコイン。一昨年、九州経済産業局主催のイベントで見ました。さかさにしても落ちない、硬貨の種類別に収まります。知的障害者のために開発されましたが、手のマヒがある方や高齢者にも、障害はなくても財布の中がごちゃごちゃする方にも便利です。
雨の音で信号や車の音が聞こえにくい視覚障害者のために作られた雨音が小さくなる傘は、雨音が苦手な方にも使えます。

3月議会 受動喫煙させないで

久留米市庁舎内では、エレベーターに喫煙直後の人が乗ってくることがありますが、16階(子ども未来部)17階(教育委員会)に来る妊婦さんや親子もいます。また、職員には、常に妊婦がいます。**三次喫煙対策が必要**です。

例として、奈良県生駒市役所では、職員の職務時間内の喫煙を禁止し、喫煙できる昼休みも喫煙後45分間は市役所庁舎内のエレベーターを使用禁止としてます。

さらに、公園や広場での受動喫煙防止には、**喫煙者に対する啓発が重要**です。人の多い場所の禁煙区域指定を提案しました。

市長の答弁は、「庁舎内の対応は、検討する」が、禁煙区域の指定には、消極的でした。さらに「たばこ税20億円は貴重な財源」と言及されたので、「たばこ税の歳入は、受動喫煙防止とは別の話。それ以上に医療費を使っている。」と指摘しました。

喫煙者が吐き出した煙や、タバコの煙を吸った場合を**二次喫煙**、衣類などに付着した残留タバコ成分によって健康被害を受けることを**三次喫煙**といいます。

傍聴しました



市長の答弁は悲しかったです。

私は呼吸器疾患(喘息・気管支拡張症・非結核性抗酸菌症)があります。外出時には**喫煙所を避けて**通り煙草の匂いがするとマスクの上からハンカチで押さえないと咳が出て**呼吸が苦しく**なります。
藤林さんが、たばこ税より肺癌のリスクや治療費の方が高くなると市長に言っていた**嬉しかったです**。



3月議会 「ともに生きる」カミングアウトの自由をアウティングの禁止を

ふじばやしは、性の多様性の尊重について、特にカミングアウトの自由やアウティングの禁止について、理解がひろがるよう、市に啓発の工夫を求めました。

カミングアウト 自分自身の性自認や性的指向を表明すること。いつ、だれにどうやって話しか話さないかは、本人の自由です。

アウティング 性的指向や性自認を、本人の同意なく第三者に暴露する行為を指します。これはプライバシー侵害で、精神的苦痛を与える行為として問題視されています。

3月議会 市役所の相談室は、人権を守れる部屋に



パネルとカーテンで仕切られた相談室

相談室は窓のスクリーンや壁は汚れ、壁には穴があき、足元には、旗竿や巻いたコードがあります。**話し声は外に**聞こえます。ここで生活保護申請に必要な生活歴、家族や病気のこと、失業した経緯などを職員に話すのですが、その**市民の気持ち**を考えると、こんな相談室はありえません。

市役所では今、レイアウト変更が行われているので、この機会にプライバシーを守れる相談室にしてほしいと求めました。

31日 久留米市手をつなぐ育成会の「新年会＆成人のお祝い」に参加。



20日 障害者の自立と政治参加をすすめるネットワーク全国大会(三重県田辺市)



18日 エスネットくるめ主催の「障害者就労支援セミナー」講師の中川悠さん



12日 消防出初式 女性初の馬連回し 11分団の高尾恵美さん

12日 久留米市障害者差別をなくす会主催のシンポジウム＆ワークショップに参加。学校教育と精神科医療の制度的な差別は、深刻だと思った。



11日 長門石校区成人式でインドネシアから来日して働く新成人と



12月21日 心眼ハート♡あいず十周年祝賀会

ふじばやし あっちこっち



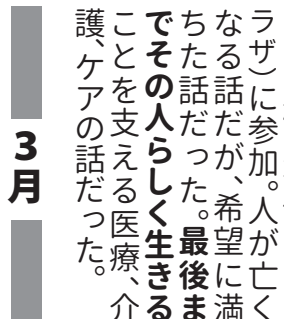
15日 地場産センターで、久留米餅のイベント「藍・愛・で逢いフェスティバル」



13日 城南中卒業式。写真が撮れるでっかい卒業証書をおやじの会OBとPTAが今年、寄贈されたそう。

10日 春闘学習会(連合福岡北筑後地域協議会)

8日 「こどもの体験格差を考える」(NPO法人舞台アート工房 劇列車)



22日 九州リビンググループ(シティアラザ)に参加。人が亡くなる話だったが、希望に満ちた話だった。最後までその人らしく生きることを支える医療、介護ケアの話だった。

18日 久留米広域市町村圏事務組合議会

15日 シンポジウム「人口減少時代の豪雨災害に向き合う地域の姿」

14日 シンポジウム「共に生きるための精神障害者への合理的配慮や差別的取り扱いについて」に主催者(くまのめ出逢いの会)として参加。県営住宅の入居申込に差別的取り扱いがあることに疑問を呈した。方(今は改善されている)

11日 久留米ビジネスコンテスト

8日 「しゅわしゅわ絵本」(NPO法人言葉の森)に主催。中央図書館で聴こえる子も聴こえない子もとも楽しんでいた。絵本の読み聞かせをするのは、ろう者の3人。表情や身ぶりが豊かだった。

7日 「しゅわしゅわ絵本」(NPO法人言葉の森)に主催。中央図書館で聴こえる子も聴こえない子もとも楽しんでいた。絵本の読み聞かせをするのは、ろう者の3人。表情や身ぶりが豊かだった。

26日 青パト当番

2月

2月

2月

2月

2月

2月

2月

2月

2月

2月

2月

2月

2月

作者は誰？

作：あい



3月議会

市民参画で 誰でも遊べる公園に!

リニューアルの 때가チャンス



京町第二公園のインクルーシブ遊具
(障害がないこどもも、一緒になって遊べる遊具)

「水沼の里2000年記念の森」の遊具を新しくする補正予算(3850万円)の審議で次のような議論をしました。

中央公園、津福公園、京町第2公園には、すでにインクルーシブ遊具が入ってます。

導入前は、市が障害児や保護者などと福岡市のインクルーシブ公園に見学に行き、実際に使った感想などをききました。しかしその後、市はイン

クルーシブ遊具を設置したお知らせや感想の集約などをしていません。

「豊島区や国分寺市は公園再整備の際に市民参加型ワークショップで遊具の検討などを行っています。市民参画でつくれば、その後の利活用につながります」と意見を述べました。

市は、「更新の時は、インクルーシブ遊具は入れていきたい。今後は、市民の意見を活かしながらかつ造りたい。」と答弁しました。



建設常任委員会
インクルーシブ
遊具について
8分46秒〜38分まで

嬉しかったこと〜 手話は言語!



3月議会の私の質問の時、ろうあ者のTさんが傍聴に来られ、手話通訳者がいました。質問終了後に Y議員がニコニコと「おつかれさま〜。手話通訳者、大変やったでしょうね。早口だし、難しい言葉もあったから」と言われました。

T議員からは「〇〇さん(手話通訳者)に原稿を渡してた方がよかったね。1人で90分は大変だったから、2人の方がよかったよね。」と言われました。

ふじばやしは「あ〜ほんとね。原稿を渡しとけばよかった〜」と言いました。

そういえば22年前、傍聴席に手話通訳者がいることについて、「事前に議運に伝えといてもらわないと」と注意されたことがありました。

今は、議員にとって、ろうあ者が傍聴に来るのも、手話通訳も当たり前になっただけでなく、手話通訳者への配慮(より正確な通訳をろうあ者に保障するための配慮)について、私に教えてくれる・・・あ〜社会は変わっていつてる!! と嬉しかったです。



藤林家の近ごろ

娘夫婦がそれぞれ転職して愛知県から久留米市に引っ越ししてきました。

4歳と2歳の孫が4月からこども園に通ってます。孫たちが近くに来て嬉しいです。

一方、武雄の実家の母(95歳)

は、一人暮らしが心配な状態になり、大阪の姉と暮らすことになりました。家にいる時間が私より長いので、姉にお願いしました。

